

第62回福島県身体障がい者福祉大会被表彰者名簿

(敬称略)

◆ 自立更生者表彰(14人)

桑折町	澁谷	向子	古殿町	西丸	リキ
伊達市	市村	武之	棚倉町	福原	義之
伊達市	大石	富明	喜多方市	真壁	次子
川俣町	渡辺	弘子	北塩原村	五十嵐	トシ子
二本松市	菅野	ヨシノ	南相馬市	桑折	浩
本宮市	渡辺	信雄	新地町	菅野	京
田村市	富塚	清子	相馬市	和田	英明

◆ 更生援護功労者表彰(13人)

桑折町	大橋	順明	平田村	吉田	清子
伊達市	佐藤	文子	棚倉町	小濱	洋子
伊達市	齋藤	ナヨ	喜多方市	栗村	慎二
川俣町	安田	アサヨ	南相馬市	諸井	忠雄
二本松市	齋藤	康壽	飯舘村	石井	せん
本宮市	岩井	清子	相馬市	佐藤	健美
田村市	大和田	敏彦			

◆ 加盟団体運営協力者感謝(20人)

桑折町	岩崎 一美	石川町	石川ライオンズクラブ 代表 佐藤 孝
伊達市	曳地 四郎	浅川町	関根 保男
伊達市	佐藤 忠三郎	塙町	藤田 平治
伊達市	清野 久美子	猪苗代町	本多 和男
二本松市	桑原 茂	喜多方市	塩原 定子
二本松市	安斎 智	喜多方市	菊地 武美
二本松市	渡辺 喜一郎	浪江町	松本 武夫
本宮市	矢吹 市郎	南相馬市	遠藤 孝
本宮市	三浦 輝友	新地町	後藤 紀江子
田村市	石塚 實	相馬市	太田 豊

◆ 会長特別感謝(1人)

福島市 佐藤 勝三

大会スローガン

- ◎ 障害者権利条約の理解を深め法整備を促進させよう
- ◎ 被災障がい者のおもいに添った支援を継続しよう
- ◎ 障がい者の社会参加にさらに取り組もう

大会宣言

民謡と野馬追いの里として古い歴史と伝統を持つ、ここ相馬市において、県内各地から多くの仲間と関係者が一堂に会し、第62回福島県身体障がい者福祉大会を開催できたことは、まことに喜びに堪えない。

本大会に寄せられた各関係機関、団体をはじめ広く県民の方々のご支援とご協力に対し、改めて深く感謝の意を表したい。

平成18年に障害者権利条約が国連で採択されて以降、我が国では、障害者基本法の改正、障害者総合支援法及び障害者差別解消法の成立など国内法制の整備が進められ、本年1月20日に条約が批准された。

今後はさらに、条約の完全実施に向けて障がい当事者団体が一丸となって取り組み、障がい者福祉の一層の向上をめざさなければならない。

また、条約の根幹である「障がい者の権利と尊厳の保障及び差別禁止」が、県民合意として、本県社会に受け入れられるために「障がい者差別禁止条例」の制定を求める。

さらに、現在においても、県内外での長期避難生活により大変苦勞の多い日々を過ごしている障がい者が、一日も早く、生きがいのある生活を取り戻せるよう引き続き支援活動を展開していく。

このような課題の多い状況にあっても、県内の障がい者一人ひとりが自立への誇りと社会参加への意欲を強く持ち、福島県身体障がい者福祉協会のもとに一致団結し、ともに生き・ともに助けあう明るい社会の実現のため、力強く行動することを誓い、ここに宣言する。

平成26年10月22日

第62回福島県身体障がい者福祉大会

大会決議

身体障がい者の自立と社会参加を促進し、「完全参加と平等」の実現を図るとともに被災加盟団体の再建及び被災会員の支援に万全を期するため、第62回福島県身体障がい者福祉大会の開催に当たり、参加者総意のもとに次の事項を決議し、その実現に努める。

要望事項

- 1 障害者権利条約の完全実施に向けた法整備を要望する。
- 2 個人情報開示のあり方の検討を要望する。
- 3 障がい者差別禁止条例の制定を要望する。
- 4 被災加盟団体の再建と被災会員の支援に関する制度の創設を要望する。
- 5 障がい者の就労・雇用の場の創出と雇用機会の拡充を要望する。

努力事項

- 1 すべての身体障がい者が当協会に加入するよう促すとともに、各加盟団体において活性化の方策を具現化し、会員相互の親睦を図りつつ、組織及び財政基盤の拡充に努力する。
- 2 身体障がい者みずからが社会の構成員としての自覚を持ち、残存能力を十分活用し、共生社会の実現に向けて努力する。

以上決議する。

平成26年10月22日

第62回福島県身体障がい者福祉大会